

令和4年度 第2学年
木工芸・美術コース

学習のてびき

奈良県立十津川高等学校

組	番	氏名
---	---	----

令和4年度 第2学年(木工芸・美術)開講科目

- ① … 現代文B
- ② … 古典B
- ③ … 世界史A
- ④ … 地学基礎
- ⑤ … 体育
- ⑥ … 保健
- ⑦ … コミュニケーション英語Ⅱ
- ⑧ … クラフトデザイン
- ⑨ … 国語表現
- ⑩ … 数学A
- ⑪ … 数学Ⅱ
- ⑫ … 森林科学
- ⑬ … 木工芸応用
- ⑭ … 図法製図基礎
- ⑮ … 美術Ⅱ
- ⑯ … 構成
- ⑰ … ボランティア

【国語科】 現代文B	教科書	新精選 現代文B (明治書院)			
	副教材	巻頭増補版常用国語便覧 (浜島書店) 随時プリント配布			
履修学年	第2学年	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習(到達)目標 (授業を通して、身に付ける力)

- ◇様々な文章に触れて読解力を磨くとともに、文学に親しむ態度を身に付ける。
- ◇自分の考えをまとめ、表現する力を身に付ける。

学習方法 (授業の進め方や工夫点など)

- ◇授業では評論文、随想、小説など多様な種類の「文章」を読んでいます。それを活かし、普段の生活の中から新聞や本、インターネットなどを利用して、「文章」に触れる機会を自ら作りましょう。
- ◇さまざまな文章を読む中で、自分の意見を持ち、積極的に発言してください。また他人の意見をしっかりと聞き、自分の考えと比較し理解を深めてください。

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	随想	『本を積んだ小舟』	・本文の語句について、漢字と意味を理解する。 ・随想における筆者の思いを読み取る。	取り組む姿勢、課題等 話し合い 中間調査	ACDE BC CDE
	小説(1)	『山月記』	・格調高い漢文調の文体に触れ、主人公の語りから心情を読み取る。 ・感想や考えたことを文章にまとめる。	取り組む姿勢、課題等 作文、話し合い 期末調査	ACDE BC CDE
二学期	評論(2)	『ものとこと』	・ものとことの関係性についての筆者の考えを読み取り、言葉について自分の考えを深める。	取り組む姿勢、課題等 話し合い	ACDE B
	小説(2)	『バブーシュカ』	・物語の展開から、登場人物の真意を探る。	取り組む姿勢、課題等 中間調査	ACDE CDE
	表現の実践	スピーチ	・テーマに沿って自分の考えをまとめ、スピーチを行う。	取り組む姿勢 スピーチ	A B
	評論(3)	『いのちのかたち』	・体と命についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。	取り組む姿勢、課題等 期末調査	ACDE CDE
三学期	小説(3)	『こころ』	・作品を通じて人間の心や孤独について深く考え、作品のテーマについて意見文を書く。	取り組む姿勢、課題等 作文、話し合い 学年末調査	ACDE BC CDE

学習評価 (成績評価は、次の5つの観点から行います) 考查点 [70] 点 : 平常点 [30] 点

	関心・意欲・態度(A)10点	話す・聞く能力(B)10点	書く能力(C)20点	読む能力(D)30点	知識・理解(E)30点
評価の観点	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などを理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・授業に取り組む姿勢 ・課題の取組状況	・スピーチ ・朗読、話し合い	・作文 ・課題 ・定期調査	・課題 ・定期調査	・課題 ・小テスト ・定期調査

留意点 (担当者からのメッセージ)

- ◇「読む・書く・聞く」ことをしっかりと意識して授業に臨んでください。
- ◇自分の読み、考えを大切にしてください。一緒に授業を作りましょう。

【国語科】 古典B	教科書	新編 古典B 言葉の世界へ（教育出版）			
	副教材	巻頭増補版常用国語便覧（浜島書店） 随時プリント配付			
履修学年	第2学年	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇古典を読む能力を養う。◇古典についての理解や関心を深める。
- ◇ものの見方、感じ方、考え方を広げる。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇習熟度別で授業を行います。
- ◇古典教材を踏まえて、自分自身が感じたり考えたりしたことを述べる機会が多くあります。積極的に言語による表現活動を行ってください。
- ◇古語は現在も生きていることを日常生活から見だし、授業で展開していこうと考えます。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	不思議な話 機知と笑い	養老の滝 買履忘度	・話の流れをつかむ。 ・話の面白さを理解する。	取り組む姿勢 プリント 中間考査	A BC BC
	項羽と劉邦 人を思う時	四面楚歌 初冠	・現代に生きる故事成語を学ぶ。 ・和歌を読み味わう。	取り組む姿勢 プリント 期末考査	A BC BC
二学期	日々の記憶 詩を味わう	門出 鹿柴・涼州詞・ 望廬山瀑布	・作者の人物像を考察する。 ・漢詩の句法を理解し、読み味わう。	取り組む姿勢 プリント 中間考査	A BC BC
	和歌と俳諧 文を味わう	万葉の歌 王朝の歌 漁父辞	・和歌の技法を理解し、読み味わう。 ・生き方の違いをまとめる。	取り組む姿勢 プリント 期末考査	A BC BC
三学期	戦いをめぐる人間像	先帝入水	・武士にとっての戦場とは何かを学ぶ。	取り組む姿勢 プリント	A BC
	さまざまな思想	不仁人之心	・人間性の捉え方の違いについて学ぶ。	学年末考査	BC

学習評価（成績評価は、次の3つの観点から行います） 考査点 [70] 点：平常点 [30] 点

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 20点	読む能力 (B) 40点	知識・理解 (C) 40点
		古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め発展させている。
評価方法	・授業に取り組む姿勢 ・課題の取組状況	・プリント ・定期考査	・小テスト ・プリント ・定期考査

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇授業をきっかけにして、伝統的な言語文化に興味をもって生活することを心がけてください。
- ◇教材をもとに、自分のものの見方や考え方を、広げたり深めたりしてください。

【地理歴史科】 世界史 A	教科書	世界の歴史 改訂版（山川出版社）			
	副教材	プロムナード世界史（浜島書店）			
履修学年	第2学年	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇前近代史を含めた歴史的なエピソードを幅広く学ぶことで、歴史に対する関心を高める。
- ◇近現代史を中心とする世界の歴史の学習を通して、平和な国際社会を築くために必要なことを考える。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇整理プリントを用い、教科書に沿って授業を進めます。ただし、世界史になじみがない人も多いと思いますので、歴史的なエピソードを紹介しながら、少しでも興味をもてるように授業を展開します。
- ◇副教材には写真や絵、地図などの資料が豊富に掲載されているので、教科書だけでなく、副教材も活用してそれぞれの地域や時代の特性をつかめるようにします。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	前近代の世界	世界の諸文明	・アジアおよびヨーロッパの諸文明を、それぞれの地域に根付いた宗教と関連させながら理解を深める。	白地図作業 中間考査	AC BD
		世界の一体化の始まり	・明・清を中心とする東アジアの国際秩序と安定期に入ったイスラーム国家の様子を学ぶ。 ・16世紀の世界の反映を大航海時代、ルネサンス、宗教改革などの出来事を中心に考察する。	授業態度 ファイル提出 期末考査	A AC BD
二学期	近代の世界	近代の世界	・欧米で展開された市民革命が世界の民主主義思想に与えた影響を考察する。	中間考査 授業態度	BD A
		帝国主義の時代	・欧米の帝国主義諸国が世界を分割した背景とその影響を考察する。	授業態度 ファイル提出	A AC
		二つの世界大戦	・二つの世界大戦が勃発した経緯とその意義を考察する。	期末考査	BD
三学期	現代の世界	平和と冷戦	・東西冷戦下の国際関係を学習する。	授業態度 ファイル提出 学年末考査	A AC BD

学習評価（成績評価は、次の4つの観点から行います） 考査点 [70] 点：平常点 [30] 点

	関心・意欲・態度 (A) 15点	思考・判断・表現 (B) 30点	資料活用の技能 (C) 15点	知識・理解 (D) 40点
評価の観点	歴史的・地理的事象に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとしている。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・授業に取り組む姿勢 ・課題の取組状況 ・整理プリントの記入内容 ・ファイルの整理	・定期考査における記述解答	・副教材の活用状況 ・レポートや報告書の作成 ・ワークシートへの記述	・定期考査

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇歴史は覚えることがたくさんあります。ただし、重要なのは暗記をすることではなく、歴史から生き方を学ぶ事です。「過ちを繰り返さず、参考となる生き方を見つける。」前向きな学習にしましょう。

【理科】 地学基礎	教科書	高等学校改訂地学基礎（第一学習社）			
	副教材	改訂ネオパルノート地学基礎（第一学習社） ニューステージ新地学図表（浜島書店）			
履修学年	第2学年	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇宇宙の誕生から現在に至るまでを時間的・空間的な広がりの中でとらえる。
- ◇地球や地球を取り巻く環境に対し目的意識をもって観察・実験を行い、地学的に探究する能力を養う。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇教科書、視聴覚教材を活用して授業を進めます。
- ◇可能な分野では観察・実験を行います。終了後に実験レポートを提出します。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	1章 宇宙における地球	(1) 宇宙の構成 (2) 太陽 (3) 太陽系の中の地球	・宇宙の成り立ちと現在までの移り変わりを理解する。 ・太陽系の構造を理解する。 ・地球誕生当初の様子について理解する。	授業態度 ノート 課題・実習 小テスト 中間考査	A A BC D BCD
	2章 活動する地球	(1) 地球の姿 (2) 火山活動と地震	・プレート運動に伴う地形の形成と地震の発生について理解する。 ・火山活動と造山運動について理解する。	授業態度 ノート 課題・実習 小テスト 期末考査	A A BC D BCD
二学期	3章 移り変わる地球	(1) 地層や岩石と地質構造 (2) 地球環境と生物界の変遷	・地質時代と生物の変遷との関係を把握する。 ・様々な地層と堆積物について理解する。	授業態度 ノート 課題・実習 小テスト 中間考査	A A BC D BCD
	4章 大気と海洋	(1) 地球の熱収支 (2) 大気と海洋の運動	・大気の大循環を気象的側面から理解する。	授業態度 ノート 課題・実習 小テスト 期末考査	A A BC D BCD
三学期	5章 地球の環境	(1) 地球環境の科学 (2) 日本の自然環境	・身近な例から地球環境の変動について考察する。	授業態度 ノート 課題・実習 小テスト 学年末考査	A A BC D BCD

学習評価（成績評価は、次の4つの観点から行います） 考査点 [60] 点：平常点 [40] 点

	関心・意欲・態度 (A) 20点	思考・判断・表現 (B) 25点	観察・実験の技能 (C) 20点	知識・理解 (D) 35点
評価の観点	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球環境について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中で捉えるなど、科学的な見方や考え方を身に付けようとしている。	地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現しようとしている。	地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けようとしている。	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けようとしている。
評価方法	・授業の取り組み状況 ・ノート記述	・実習レポートや課題の記述内容 ・定期考査	・実習レポートや課題の記述内容 ・実験や実習の取り組み状況 ・定期考査	・小テスト ・定期考査

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇小テスト範囲を前もって学習し、日頃から勉強に取り組みましょう。

【保健体育科】 体育	教科書	現代高等保健体育改訂版（大修館書店）			
	副教材	使用しません（随時プリントを配布）			
履修学年	第2学年	履修形態	必修 選択	履修単位	3単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇運動の合理的、計画的な実践を通して知識を深めるとともに技能を高める。
- ◇自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高める。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇自己の興味、関心のある競技を選択し、知識を深め、高い技能を身に付ける。
- ◇基本的には男女共習で行う。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	・体づくり運動 ・球技 ・武道 ・体育理論	・体力を高める運動 ・体ほぐしの運動 ・ネット型, ゴール型, ベースボール型	・体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体づくり運動の行い方を身に付け体力向上に取り組む。 ・能率的な集団行動をできるようにする。	課題プリント 実技テスト 授業観察 出席状況 等	AD C ABCD A
		・剣道	・自己の技能・体力の程度に応じて最も打突しやすい得意技を見つけ、得意技を用いた攻防が展開できるようにする。		
二学期	・体づくり運動 ・陸上競技 ・球技 ・武道 ・体育理論	・体力を高める運動 ・体ほぐしの運動 ・跳躍、投てき、短距離走 ・ネット型, ゴール型, ベースボール型	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、フェアなプレイをしようとする態度を養い、体力、運動の技能を高める。 ・練習や作戦について話し合う活動を通してコミュニケーション能力を育成する。	課題プリント 実技テスト 授業観察 出席状況 等	AD C ABCD A
		・剣道	・得意技を用いた攻防が展開できるようにし、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わう。 ・簡易な試合の際に競技のルールや審判など必要な役割に応じた行動の仕方を学び、実践する。		
三学期	・体づくり運動 ・陸上競技 ・武道	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 ・長距離走	・ペースの変化に対応した走りをするができるようになる。自己の記録に挑戦し、記録を向上させることができるようになる。	実技テスト 授業観察 出席状況 等	C ABCD A
		・剣道	・相手を尊重し、礼法や形といった伝統的な立ち居振る舞いを理解する。		

学習評価（成績評価は、次の4つの観点から行います）

	関心・意欲・態度 (A) 20点	思考・判断 (B) 15点	運動の技能 (C) 50点	知識・理解 (D) 15点
評価の観点	授業に積極的、主体的に取り組む、仲間と協力し、自己の責任を果たそうとする。 勝敗を冷静に受け止め、ルールやマナー、チームワークを大切にしようとしている。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出している。 自己や相手の健康や安全に留意した練習や攻防ができています。	作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できている。 剣道では状況に応じ基本的な動きができるようになり、崩し、しかけ、応じができ、礼法を習得している。	技術や技の名称や行い方を理解できている。 ゲームのルールや試合方法、審判の方法を理解している。 各運動に関連した体力の高め方を理解している。
評価方法	・観察評価（授業中の態度・行動、積極性、出席・見学回数、忘れ物を含む） ・課題プリント	・観察評価 ・学習シート	・実技テスト ・観察評価	・対話 ・観察評価 ・学習シート、課題プリント

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇授業開始のチャイムが鳴るまでに更衣を済ませ、集合してください。
- ◇見学等の連絡がある者は事前に担当の先生に相談し、指示を受けてください。

【保健体育科】 保健	教科書	現代高等保健体育（大修館書店）			
	副教材	適宜プリントを配布			
履修学年	第2学年	履修形態	必修・選択	履修単位	1単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

◇個人生活及び社会生活における健康・安全に関する理解を通して、健康についての総合的な認識を深め、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、生涯を通じて自己の健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育てます。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

◇「健康」に関わる問題を、様々な角度から捉えつつ、教科書に沿って授業を行います。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価計画	観点
一学期	(2)生涯を通じる健康	・生涯の各段階における健康 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関	・思春期における体の発達や行動面、精神面の特徴を理解し、異性を尊重する態度を身に付け、性に関する的確な意志決定ができるようにする。 ・受精・妊娠・出産の過程を理解し、家族計画の意義や避妊方法、人工妊娠中絶についての知識を身に付け、実生活に活かすことができるようにする。 ・生涯を通じて健康を保持増進するため、保健・医療制度のしくみや活用の仕方を学ぶ。	課題提出 出席状況等 期末考査	ABC ABC BC
二学期	(2)生涯を通じる健康 (3)社会生活と健康	・様々な保健活動や対策 ・環境と健康 ・環境と食品の健康	・我が国や世界で健康課題に対応して行われている様々な保健活動や対策などを学ぶ。 ・大気・水・土壌などの環境を、主体的に守る取り組みを考える。 ・環境や食品に関わってどのような保健活動が行われているのか、私たちはどのような役割を果たすべきかを考える。	課題提出 出席状況等 期末考査	ABC ABC BC
三学期	(3)社会生活と健康	・環境と食品の健康 ・労働と健康	・環境や食品に関わってどのような保健活動が行われているのか、私たちはどのような役割を果たすべきかを考える。 ・現代における職業病や労働災害について理解し、職場での総合的な安全管理や人々との積極的な健康作りの方法について学ぶ。	課題提出 出席状況等 学年末考査	ABC ABC BC

学習評価（成績評価は、次の3つの観点から行います） 考査点 [50] 点：平常点 [50] 点

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 20 点	思考・判断 (B) 30 点	知識・理解 (C) 50 点
評価の観点	健康の重要性を理解しようとし、資料を調べたり、見たり読んだりするなどの学習活動に積極的に取り組もうとしている。	健康に関するさまざまな問題や課題を見だし、整理したりするなどして、それらを説明している。	健康についての総合的かつ基礎的な知識の理解を深めている。
評価方法	・授業に取り組む姿勢 ・授業プリントの記入内容 ・提出物の整理	・授業中の質疑応答 ・授業プリントの記入内容 ・考査における記述解答	・考査 ・授業プリントの記入内容

留意点（担当者からのメッセージ）

◇授業開始のチャイムが鳴るまでに、教科書・ファイル・筆記用具の準備をし、着席してください。
◇人生を幸せに、そして健康に過ごすために学習を進めていきます。実生活と関連づけながら授業に取り組んでください。

【外国語科】	教科書	VISTA English Communication II NEW EDITION (三省堂)			
コミュニケーション英語Ⅱ	副教材	使用しません(授業プリントなどを適宜利用)			
履修学年	第2学年	履修形態	必修 選択	履修単位	3単位

学習(到達)目標 (授業を通して、身に付ける力)

- ◇日常的な話題について、英語で聞いたり話したりできるようになる。
- ◇情報や考えなどを英語で伝える能力を養い、積極的にコミュニケーションを図ることができるようになる。

学習方法 (授業の進め方や工夫点など)

- ◇クラス分けテストの結果により、「A, B, C」の習熟度別で授業を行います。共通の教科書は使用しますが、それぞれの到達度により授業の内容も異なり、あらゆる進路に対応した授業を行います。
- ◇教科書以外にも授業プリントなどを適宜利用することにより、予習・復習がスムーズにできるように進めます。課題の提出は必須です。
- ◇英語による指示や質問を聞き、英語で応答できるように工夫します。

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	Lesson 1 Lesson 2	Birthdays, Here and There The Emerald Isle	・疑問詞や if で始まる節や比較表現を理解する。また、それらを含む英語で自身の考えを表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 中間考査	A ABC AD D
	Lesson 3 Lesson 4	The Sagrada Familia Nobel Prize Episodes	・名詞を修飾する分詞や知覚動詞の表現を理解し、それらを含む英語で自身の考えを表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 期末考査	A ABC AD D
	Lesson 5 Lesson 6	Flowers in the Tomb Becoming the Best	・使役代名詞、関係代名詞 what、how to～、It seems that～の表現を理解し、それらを含む英語で自身の考えを表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 中間考査	A ABC AD D
	Lesson 7 Lesson 8	The Galapagos Islands Shodo, Old and New	・現在完了進行形、形式目的語 It、部分否定、can be done の表現を理解し、それらを含む英語で自身の考えを表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 期末考査	A ABC AD D
三学期	Lesson 9 Lesson 10	Water World A Long Friendship	・関係代名詞の非制限用法、have been done、過去完了形、強調構文の表現を理解し、それらを含む英語で自身の考えを表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 学年末考査	A ABC AD D

学習評価 (成績評価は、次の4つの観点から行います) 考査点 [60] 点 : 平常点 [40] 点

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (A) 20点	外国語表現の能力 (B) 5点	外国語理解の能力 (C) 5点	言語や文化についての知識・理解 (D) 70点
評価の方法	・積極的に授業に取り組み、失敗を恐れずに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢がある。授業中に与えられた課題や小テストに前向きに取り組もうとしている。	・日常生活や自分の考えを、英語で書いたり、話したりできる。ALT とのチームティーチングにおいて、自分の考えなどを英語で書き、話している。	・英語を聞いたり、英語で書かれたりしたものを読んで理解できる。ALT とのチームティーチングにおいて、意欲的に理解している。	・提出課題 ・定期考査

留意点 (担当者からのメッセージ)

- ◇毎日の予習・復習を必ず行ってください。英語は学習の積み重ねが大切です。
- ◇ALT の先生も一緒にチームティーチングをしていただきます。積極的に参加してください。

【美術科】		教材	工芸 I (日本文教出版)		
クラフトデザイン		副教材	使用しません		
履修学年	第2学年(木・美)	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習(到達)目標 (授業を通して、身に付ける力)

- ◇クラフトデザインについて幅広い知識と技能を身に付け、主体的に取り組む姿勢を養う。
- ◇実用性のある作品やあたたかみのある作品を制作し、工芸品に親しむところを養う。

学習方法 (授業の進め方や工夫点など)

- ◇教科書以外のプリントや資料も積極的に活用し、視聴覚教材を活用した授業を行う。
- ◇制作を進める上で、作品の造形やデザインに独自性があるものを多く取り入れられるように工夫し、感性を養う。

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	クラフトデザイン 鑑賞	・オリエンテーション ・デザイン基礎 ・機能と造形 ・観察と立体表現 ・鑑賞	・デザインの意味や方法、流れを理解する。 ・アイデアをスケッチし、デザイン画を描く。 ・木彫レリーフを制作する。 ・互いの完成作品を鑑賞することで意見を交換し、理解を深める。	作品・課題 授業態度 準備物 出席状況 ワークシート 確認テスト	ABCD A A A D AD
二学期	つくるー材料・技法 演習 鑑賞	・木でつくる ・鑑賞	・文化祭に出品する木工作品の制作。 ・身近で実用性があり、親しみのある工芸品を木を使って制作する。 ・お互いの作品を鑑賞する。	作品・課題 授業態度 準備物 出席状況 ワークシート 確認テスト	ABCD A A A D AD
三学期	つくるー材料・技法 演習 鑑賞	・木でつくる ・鑑賞	・身近な日用品をデザインする。 ・木の特性を理解し、子供が安心して遊べる玩具をデザインし、制作する。 ・作品を発表、鑑賞、講評し合い、お互いの作品への理解を深める。	作品・課題 授業態度 準備物 出席状況 ワークシート 確認テスト	ABCD A A A D AD

学習評価 (成績評価は、次の4つの観点から行います) 作品点 [60] 点 : 平常点 [40] 点

	関心・意欲・態度 (A) 40点	発想や構想の能力 (B) 20点	創造的な技能 (C) 20点	鑑賞の能力 (D) 20点
評価の観点	芸術や工芸、またその伝統と文化に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	感性や想像力を働かせて、心豊かな発想をし、構想を練ることができている。素材や用具を活用し、効果的な手順や技法を使用し創意工夫して制作できている。	制作に必要な基礎的な技能を身に付け、表現方法を吟味し創造できている。制作全般において課題を見つけ、その解決を目指し、工夫している。	様々な作品を鑑賞し、工芸や工芸の伝統と文化に関心を持ち、その良さや味わい、美しさについて理解している。
評価方法	・授業に取り組む姿勢 ・出席状況 ・授業の準備(教科書・実習工具・資料・服装) ・作品、課題提出状況 ・確認テスト	・作品 ・課題 ・アイデアスケッチ	・作品 ・課題	・ワークシート ・作品 ・課題 ・確認テスト

留意点 (担当者からのメッセージ)

- ◇安全に十分に注意し、怪我や事故を未然に防ぐこと。作品、課題の提出は必ず期限を守りましょう。
- ◇授業では「考える」「伝える」「理解し合う」ことを大事にしています。制作では、みんなで協力し「創る喜び」や「工芸とデザイン」について学習しましょう。授業には作業着、安全靴を着用して出席してください。

【国語科】 国語表現	教科書	国語表現 改訂版（教育出版）			
	副教材	プリント教材・新聞など			
履修学年	第2学年	履修形態	必修 選択	履修単位	2単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇現代文および古典の内容を基に発展的に学習し、国語全般の知識・理解の定着を図る。
- ◇さまざまな文章を読み、自分の考えをまとめ、的確に表現する力を身に付ける。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇授業で読むさまざまな文章の中から、自らの意見をもって積極的に発言し、文章に書いて表現してください。
- ◇スピーチやプレゼンテーション、創作活動も行います。積極的に取り組みましょう。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	本のポップ作り 文章表現の基礎 人とつながる言葉	・抽象的な語の定義を把握し、文章を書く際の表現技法を学ぶ。	・高校生としてふさわしい語彙や表現で文章を書く。	取り組む姿勢 作文 作品	A CD CD
	小論文 I	・具体的な語の定義を把握し、小論文を作成するための知識を得る。	・小論文における決まりを理解する。 ・文章の構成を考えて小論文を作成する。	取り組む姿勢 小論文 課題レポート	A CD CD
二学期	声の表現 プレゼンテーションの方法	・自分の考えを的確に伝え、相手の話を正しく聞き取るための表現技法を学ぶ。	・自分の意見を、聴衆に向けて正しい表現で発表する。 ・自分のコンセプトを伝えることのできるプレゼンテーションを行う。	取り組む姿勢 発表 プレゼンシート	A B B
	言葉を届ける エッセイを書く	・場に応じた、適切な言葉の使い方を学ぶ。	・敬語の適切な使い方や、手紙やメールでの文章の書き方を理解し、実際に書く。 ・自分の考えをエッセイに書く。	作文など 課題レポート	CD CD
三学期	物語を作る	・さまざまな文章を読み、語彙を豊かにする。	・物語の魅力や伝える方法を考えて、絵本の読み聞かせをする。 ・物語を深読みし、二次創作をする。	取り組む姿勢 発表 プレゼンシート	A B B
	メディア・リテラシー	・文章から、内容や情報を得る方法を学ぶ。	・新聞の読み比べを行い、「違い」の読み取りを行う。 ・客観的な視点を踏まえて、自らの意見を文章にまとめる。	作文など 課題レポート	CD CD

学習評価（成績評価は、次の4つの観点から行います）課題点 [30] 点：平常点 [70] 点

	関心・意欲・態度 (A) 20点	話す・聞く能力 (B) 20点	書く能力 (C) 40点	知識・理解 (D) 20点
評価の観点	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて、効果的に話を的確に聞きとったり、テーマについて話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・授業に取り組む姿勢	・授業での発言、発表 ・プレゼンテーションシート	・プリント ・課題作品、レポート ・プレゼンテーションシート	・課題プリント ・課題作品、レポート

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇様々な文章に触れたり、自らの考えを文章にしたりすることで、考える力を身に付けてください。
- ◇自分の読みや考えを大切にしてください。一緒に授業を作りましょう。

【数学科】 数学 A	教科書	改訂版 最新 数学 A (数研出版)			
	副教材	改訂版書き込み式シリーズ【標準】教科書傍用 Study-Up ノート 数学 A (数研出版)			
履修学年	第 2 学年	履修形態	必修・ 選択	履修単位	2 単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について、基礎的な知識を深め、その技能を習得する。
- ◇知識・技能を活用する能力を身に付けるとともに、数学の良さがわかる。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇教科書・授業プリント・演習ノートを計画的に利用することにより、予習・復習を網羅していきます。ただし数学的な知識や技能の定着のためには、繰り返し行うことが更に必要です。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	場合の数と確率	場合の数	・具体例を通して試行と事象の意味を理解し、場合の数の解法を身に付ける。	課題 出席状況、提出物 中間考査	D AC BCD
		確率	・具体例を通して試行と事象の意味を理解し、その確率を求める。期待値を理解し、身の回りの場面で活用する。	課題学習 出席状況、提出物 期末考査	B AC BCD
二学期	図形の性質	平面図形	・三角形の辺や角、線分、内接円や外接円、二等分線の性質を理解する。弧や弦など円の基本的な性質を学習し、円周角や円に内接する四角形、円と直線の関係、接弦定理、2つの円の位置関係などについて理解する。	課題 出席状況、提出物 中間考査	D AC BCD
		空間図形	・空間における位置関係や多面体について理解する。	課題学習 出席状況、提出物 期末考査	B AC BCD
三学期	整数の性質	約数と倍数 ユークリッドの互除法	・約数と倍数、素因数分解や互いに素であることなどがわかり、最小公倍数や最大公約数、商と余りについて理解する。1次不定方程式の解法を理解する。	課題 出席状況、提出物 学年末考査	D AC BCD

学習評価（成績評価は、次の4つの観点から行います） 考査点 [70] 点：平常点 [30] 点

	関心・意欲・態度 (A) 10 点	数学的な見方や考え方 (B) 30 点	数学的な技能 (C) 30 点	知識・理解 (D) 30 点
評価の観点	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質の考え方に関心をもつとともに、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・出席状況等 ・授業中の姿勢・態度	・課題学習の取組 ・定期考査	・ノート・ワークなどの提出物 ・定期考査	・課題 ・定期考査

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇授業においては学ぶ姿勢が大切です。目標をもって学習に取り組んでください。
- ◇知識や理解の定着に近道はありません。繰り返し復習をし、その過程で理解を深めてください。

【数学科】 数学Ⅱ	教科書	改訂版 最新 数学Ⅱ (数研出版)			
	副教材	改訂版 書き込み式シリーズ【標準】教科書傍用 Study-Up ノート数学Ⅱ (数研出版)			
履修学年	第2学年 (進路、木、美)	履修形態	必修 選択	履修単位	2単位

学習(到達)目標 (授業を通して、身に付ける力)

- ◇いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分について、数学Ⅰより発展した内容について知識を深め、その技能を習得する。
- ◇知識・技能を活用する能力を身に付けるとともに、数学の良さがわかる。

学習方法 (授業の進め方や工夫点など)

- ◇教科書・授業プリント・Study-Up ノートを計画的に利用することにより、予習・復習を網羅していきます。ただし、数学的な知識や技能の定着のためには、繰り返し行うことが更に必要です。

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	式と証明・高次方程式	複素数と方程式	<ul style="list-style-type: none"> 複素数の性質、解法を理解する。 因数定理を使うことで高次の方程式を簡潔に因数分解する方法を理解する。 	課題 出席状況 提出物、 中間考査	D A BCD
		式と証明	<ul style="list-style-type: none"> 等式や不等式の意味を正確に理解し、演算だけでなく証明する方法を理解する。 	課題学習 出席状況、課題 提出物、 期末考査	B A BCD
二学期	図形と方程式 いろいろな関数①	点と直線 円の方程式	<ul style="list-style-type: none"> 2点間の距離や内分外分、直線の方程式の学習を深め、2直線の交点や位置関係を理解する。 円の方程式と円の半径や中心の関係を理解する。 	課題 出席状況 提出物、 中間考査	D A BCD
		円と直線 円の接線の方程式	<ul style="list-style-type: none"> 円と直線の共有点について幾何学的な意味とその導出方法について理解する。 円の接線について幾何学的な意味とその導出方法について理解する。 	課題学習 出席状況 提出物、 期末考査	B A BCD
		領域	<ul style="list-style-type: none"> 領域を不等式で表せることを理解する。 		
三学期	いろいろな関数②	指数関数・対数関数	<ul style="list-style-type: none"> 有理数に拡張した指数法則について理解する。また、対数の考え方やグラフ、常用対数について理解する。 	課題 課題学習 出席状況 提出物、 学年末考査	D B A BCD

学習評価 (成績評価は、次の4つの観点から行います) 考查点 [70] 点 : 平常点 [30] 点

	関心・意欲・態度 (A) 10 点	数学的な見方や考え方 (B) 30 点	数学的な技能 (C) 30 点	知識・理解 (D) 30 点
評価の観点	様々な式、図形と方程式、三角関数の考え方に関心をもつとともに、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	事象を数学的に考察し、表現している。また思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることを通し、数学的な見方や考え方を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、三角関数において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、三角関数における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 出席状況等 授業中の態度・姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> 課題学習の取組 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ノート、ワークなどの提出物 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 課題 定期考査

留意点 (担当者からのメッセージ)

- ◇授業においては学ぶ姿勢が大切です。目標をもって学習に取り組んでください。
- ◇知識や理解の定着に近道はありません。繰り返し復習をし、その過程で理解を深めてください。

【農業科】 森林科学	教科書	森林科学（実教出版）			
	副教材	実験実習の手引き（全国林業改良普及協会）購入しません			
履修学年	第2学年(木・美)	履修形態	必修 選択	履修単位	2単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇森林の育成、保全と利用に必要な知識と技術を習得する。
- ◇森林生態系と林木の生育特性を理解し、森林を総合的に利用する能力と態度を身に付ける。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇教科書の内容に沿って、十津川における林業の現状を鑑みながら授業を進めます。
- ◇必要に応じて教科内実習や観察記録も実施します。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	1 森林と育林	第1章 森林と育林 1 森林の役割 2 森林の意義	・森林の持つ多面的な機能を発揮させるための育林の必要性を理解する。	レポート提出 ノート提出 中間考査	BC A BD
	2 森林の生態と分布	第2章 森林の生態と分布 1 森林の生態系 2 森林の分布	・生態系における森林の役割、森林内のエネルギーの流れについて理解する。 ・林産物の活用について学習する。	実習内容 ノート提出 期末考査	AC A BD
二学期	3 林木の生育と環境	第3章 林木の生育と環境 1 主な樹種の性状 2 林木の生育特性 3 林木の生育と環境因子	・葉や幹の形状を学習し、樹木を識別できる能力を身に付ける。 ・樹木の生長に関する環境を理解する。	レポート提出 ノート提出 中間考査	BC A BD
	4 育苗と造林	第4章 育苗と造林 1 林木の育苗と育種 2 苗畑の管理 3 人工更新と天然更新 4 主な林木の造林方法	・植林までの苗木の管理、森林の造成方法、伐採方法について基礎的な知識を身に付ける。 ・チェーンソーの使用方法を体験する。 ・林産物を活用した作品を制作する。	実習内容 ノート提出 期末考査	AC A BD
三学期	5 森林の保育と山地の保全	第5章 森林の保育と山地の保全 1 林木と林地の保育 2 森林の保護	・森林を健全に育てるための管理技術、森林破壊の現状について学習する。	レポート提出 ノート提出 学年末考査	BC A BD

学習評価（成績評価は、次の4つの観点から行います） 考査点 [50] 点：平常点 [50] 点

	関心・意欲・態度 (A) 30点	思考・判断・表現 (B) 20点	技能 (C) 10点	知識・理解 (D) 40点
評価の観点	森林に関する諸問題に関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	林業に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、林業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	林業に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	林業に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、農業の意義や役割を理解している。
評価方法	・授業に対する積極性 ・ノートの整理 ・実習の取組状況	・定期考査における記述解答 ・実習レポートの考察、感想等	・実習レポートの作業要領等の記入状況 ・実習の取組状況・作業手順	・定期考査

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇実習は目的を把握して、計画的に作業を進めてください。
- ◇実習には必ず実習服で参加してください。

【工芸科】 木工芸応用	教科書	木工の基本を学ぶ（主婦の友社）			
	副教材	工芸 I（日本文教出版）			
履修学年	第2学年(木工芸)	履修形態	必修・選択	履修単位	4単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇1年次の基礎をより深化させ、手順や技法などを吟味し、意図に応じて材料や用具を活用して創意工夫する能力を高める。
- ◇制作、実習を中心として、実用性のある作品を制作し、木工芸に関する発展的な知識と技術を身に付け、工芸の伝統と文化などの理解を深める。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇電動工具や大型加工機械などを活用し、より専門的な制作技術を身に付ける。
- ◇制作を進める上で、作品の造形やデザインに、独自性があるものを多く取り入れられるように工夫し、木工芸品を生活の中で活用し、親しむところを養う。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	オリエンテーション 鑑賞 小抽斗	オリエンテーション 鑑賞する 一段抽斗の制作	・木の性質や工具についてプリント等を活用し基礎を復習する。 ・抽斗に関する技法や作品等を鑑賞し、知識を深める。 ・組み手の技法を用いて実用性のある抽斗を制作する。	授業態度 準備物 出席状況 鑑賞カード 提出作品等	A A A D ABC
二学期	文化祭用販売作品 収納機能付き木工芸作品制作	文化祭用販売作品の制作 収納機能	・自動かな盤などの中型機械を使用し、より専門的な加工技術を学ぶ。 ・用途や目的、使った時の姿勢、材料と構造を理解し、実用性を満たした上で、木工芸基礎で学んだほぞ技法を用いてオリジナルの収納機能付き作品を制作する。	授業態度 準備物 出席状況 鑑賞カード 提出作品等	A A A D ABC
三学期	オリジナル工具箱制作	工具箱制作	・制作をする。 ・互いの完成作品を鑑賞し、意見を交換する。	授業態度 準備物 出席状況 鑑賞カード 提出作品等	A A A D ABC

学習評価（成績評価は、次の4つの観点から行います）作品点 [60] 点：平常点 [40] 点

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 30点	発想や構想の能力 (B) 25点	創造的な技能 (C) 25点	鑑賞の能力 (D) 20点
		材料の特性や用具の使用方法に関心をもっているか。木工芸や工芸の伝統と文化に関心を持ち、自ら主体的に取り組もうとしている。	感性や想像力を働かせて、心豊かな発想をし、目的や条件、機能や素材の生かし方などを考え、構想を練っている。	創造的で、木工制作に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫しているか。制作手順や技法を吟味し、工夫している。
評価方法	・授業に取り組む姿勢 ・出席状況等 ・授業準備 ・提出作品	・スケッチ ・提出作品	・提出作品	・鑑賞カード

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇安全に十分に注意し、怪我は未然に防ぎましょう。課題提出は必ず期限を守りましょう。
- ◇授業では「自ら考える」ことを大事にしています。制作では、みんなで協力し「創る喜び」や「自然と人間のかかわり」について学習しましょう。原則、授業には作業着、安全靴で参加してください。

【工芸科】		教材	製図（実教出版）		
図法製図基礎		副教材	基礎製図練習ノート（実教出版）		
履修学年	第2学年(木工芸)	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇製図や工芸についての基礎的な知識を養い、製図に必要な用具の基本的な扱い方を理解する。
- ◇製図、作図を中心として、実際の作品制作に役立つ技能を身に付ける。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇教科書と製図練習ノートとプリントを積極的に活用し、授業を展開する。
- ◇実際に使用することを想定した身近な物品を製図し、製図に興味と親しみをもつよう工夫する。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	製図基礎 1	製図に用いる用具 用具と用紙 線の種類とひき方 スケッチ 展開図 大きさと尺度 線の種類、用法	・製図に必要な基本的な用具や技術について学習する。 ・さまざまな種類の展開図をコンパスや定規等を用いて描き、製図用具に慣れる。 ・展開図を基に立体を作ることによって製図作業に慣れ親しみ、立体感覚を掴む。 ・実際のモチーフをスケッチする。	課題・作品 授業態度 準備物 出席状況 確認テスト 練習ノート	ABCD A A A BCD ABCD
二学期	製図基礎 2	基本的な図の書き方 投影法 等角図 キャビネット図	・1学期で学んだ知識と基礎的な技法を用い、製図を行う。	課題・作品 授業態度 準備物 出席状況 確認テスト 練習ノート	ABCD A A A BCD ABCD
三学期	各種の製図	平面図	・卒業制作に向けた製図をする。	課題・作品 授業態度 準備物 出席状況 確認テスト	ABCD A A A BCD

学習評価（成績評価は、次の4つの観点から行います）作品点 [60] 点：平常点 [40] 点

	関心・意欲・態度 (A) 40点	思考・判断・表現 (B) 20点	技能 (C) 20点	知識・理解 (D) 20点
評価の観点	製図に関する事象や工芸や工芸の伝統と文化に関心をもち、意欲的に探究する態度を身に付けようとしている。	製図に関する事象について、論理的に考えたり、分析したりして、総合的に判断できる。また、その過程や結果および考え方を的確に表現できる。	製図に関する事象について理解し、読図・作図の技能を身に付けている。	製図に関する事象について、基本的な概念や基礎的な知識を理解し、身に付けている。
評価方法	・授業に取り組む姿勢 ・出席状況・遅刻・準備物 ・課題・作品提出状況 ・練習ノート	・作品 ・課題 ・練習ノート ・確認テスト	・作品 ・課題 ・練習ノート ・確認テスト	・作品 ・課題 ・練習ノート ・確認テスト

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇集中して授業に取り組ましましょう。課題提出は必ず期限を守りましょう。
- ◇授業では実際に立体制作に必要な製図の基礎を身に付ける事を目的としています。図面を読んだり、描いたり、活用する能力を養いましょう。
- ◇授業には製図道具一式を用意し、制服で参加してください。

【芸術科】 美術Ⅱ	教科書	美術2（光村図書）			
	副教材	使用しません			
履修学年	第2学年（美術）	履修形態	必修選択	履修単位	2単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

◇ 美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

◇ 教科書以外のプリントや資料も積極的に活用し、視聴覚教材を活用した授業を行う。
◇ 作品の造形やデザインに独自性があるものを多く取り入れられるように工夫し、豊かな感性を養う。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	手を描く手	鑑賞 絵画・表現	<ul style="list-style-type: none"> 作品を鑑賞し意見交換をすることで互いの作品に対する理解を深める。 鉛筆デッサン 手の表情を観察する。 他の生徒の作品について理解を深める。 	作品・課題 授業態度 準備物 出席状況 確認テスト ワークシート	ABC A A A AD AD
二学期	トロフィ制作	立体表現 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 石粉粘土を使用し、立体作品を制作する。 ワークシートを配布し、制作するブロンズ像の詳細なイメージを固める 完成した作品を互いに鑑賞し合い、意見交換をする。 	作品・課題 授業態度 準備物 出席状況 確認テスト ワークシート	ABC A A A AD AD
三学期	アニメーションの仕組み	映像メディア表現	<ul style="list-style-type: none"> フィナキストスコープの制作 ゾートロープ制作 アニメーションの仕組みや動く絵について理解を深める。 	作品・課題 授業態度 準備物 出席状況 確認テスト ワークシート	ABC A A A AD AD

学習評価（成績評価は、次の4つの観点から行います） 作品 [60] 点：平常点 [40] 点

	関心・意欲・態度(A) 30点	発想や構想の能力(B) 25点	創造的な技能(C) 25点	鑑賞の能力(D) 20点
評価の観点	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む姿勢 出席・欠席・遅刻 教科書・実習工具・資料・服装などの準備・作品 ワークシート・確認テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 作品 課題 アイディアスケッチ 	<ul style="list-style-type: none"> 作品 課題 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 確認テスト

留意点（担当者からのメッセージ）

◇安全に十分に注意し、怪我や事故を未然に防ぐこと。作品、課題の提出は必ず期限を守りましょう。
◇授業では「考える、伝える、理解する」ことを大事にしています。制作では、みんなで協力し「創る喜び」について学習しましょう。授業の内容により体操服、作業着着用の指示をすることがあります。

【美術科】 構成	教科書	美術 2 (光村図書)			
	副教材	使用しません			
履修学年	第 2 学年 (美術)	履修形態	必修 選択	履修単位	4 単位

学習 (到達) 目標 (授業を通して、身に付ける力)

- ◇ 造形的な創造活動の基本となる諸要素の理解を深め、感性や造形感覚と創造的な構成の能力を高める。

学習方法 (授業の進め方や工夫点など)

- ◇ 教科書以外のプリントや資料も積極的に活用し、視聴覚教材を活用した授業を行う。
- ◇ 作品の造形やデザインに独自性があるものを多く取り入れられるように工夫し、豊かな感性を養う。

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	色面構成	形体・色彩 抽象形の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩について理解を深め、調和のとれた配色を学習する。 ・形体の性質と空間に果たす機能について理解を深める。 ・他者の作品を鑑賞する。 	作品・課題 授業態度 準備物 出席状況 確認テスト ワークシート	ABC A A A AD AD
二学期	投影図や透視図の構成	平面構成 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・立体感と空間の広がりについて理解するとともに、作品全体の調和を考える。 ・作品を鑑賞し意見交換をすることで互いの作品に対する理解を深める。 	作品・課題 授業態度 準備物 出席状況 確認テスト ワークシート	ABC A A A AD AD
三学期	プロダクトデザイン	デザイン 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・「使ってみたくなる形」というテーマで、日常的に使用する道具などのデザインをする。 ・スケッチブックなどにデザイン案を作成し、使用用途、アピールポイントなどの詳細を設定する。 ・粘土や木材を用いて立体的なイメージを作成する。 	作品・課題 授業態度 準備物 出席状況 確認テスト ワークシート	ABC A A A AD AD

学習評価 (成績評価は、次の 4 つの観点から行います) 作品 [60] 点 : 平常点 [40] 点

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 30 点	発想や構想の能力 (B) 25 点	創造的な技能 (C) 25 点	鑑賞の能力 (D) 20 点
評価の観点	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む姿勢 ・出席・欠席・遅刻 ・教科書・実習工具・資料・服装などの準備・作品 ・ワークシート・確認テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・課題 ・アイディアスケッチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・確認テスト

留意点 (担当者からのメッセージ)

- ◇授業では「考える、伝える、理解する」ことを大事にしています。制作では、形と色を組み合わせる秩序のある美しい画面、作品を構成し、「創る喜び」について学習しましょう。
- ◇作品、課題の提出は必ず期限を守りましょう。

【地域】 ボランティア	教材	使用しません			
	副教材	ボランティア手帳			
履修学年	第2学年	履修形態	任意	履修単位	増加1単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇ 体験的・実践的な活動の中で、社会の一員であることを自覚し、互いが支え合う社会の仕組みを理解する。
- ◇ 地域貢献等を通し社会奉仕の精神を涵養し、自らのあり方、生き方を求め自己実現をはかる一助とする。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇ 単位認定対象活動
ボランティア活動同意書・活動願が出され校長が認めた活動
 - a) ボランティアクラブ・生徒会で行う活動
 - b) 学校に依頼があり、学校長の認めた事業
 - c) 個人・他団体で行うボランティアで校長が単位の認定を認めたもの

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	学習項目	主な学習活動
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアクラブ ・生徒会活動 ・学校に依頼があり、校長が認めた事業 ・個人、他団体で行うボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティア ・十津川村主催行事 ・災害ボランティア ・ボランティアに関する研修 （長期休業期間の活動も含む）
二学期		
三学期		

学習評価（成績評価は、行いません。）

評価方法	<p>①ボランティア同意書・活動願をボランティアクラブ顧問に提出</p> <p>②活動後、現地担当者からボランティア手帳に証明印またはサイン受領 （生徒会、ボランティアクラブの活動の場合は、担当教員が証明）</p> <p>③ボランティア手帳をボランティアクラブ顧問に提出 →認定台帳に認定単位時間（活動時間）を記入 →手帳は生徒に返却、認定台帳は教務部保管</p> <p>④年度末までに35単位時間（1750分）を満たせば、成績会議において教科「地域」、科目「ボランティア」として1単位を認定。</p>
------	---

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇教員が引率しない活動については、自己の責任で行う。
- ◇ボランティアに参加するには必ずボランティア手帳を携帯する。
- ◇服装等、準備物は個人で準備する。